

2016サマーナイトフェスタ IN 安原

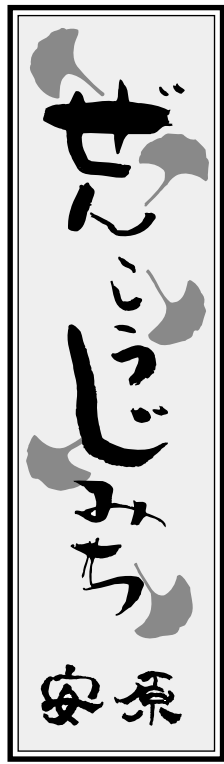
— 夏の暑い夜、うれしいひと時、安原の夏の夜に —

平成28年7月23日(土) 天気 晴れ 最高気温：30.8℃の夜



ご来場者は約250人。大盛況の一夜となりました。

今年のサマーナイトフェスタ IN 安原は、三年ぶりに屋外を主会場に開催されました。
夜の賑わいの様子と、もてなし準備の裏方作業の「コマ」を紹介します。



今年も「あさひ太鼓」の皆さんに演奏をお願いしました。心に響く太鼓のリズムに、聴衆の心もともに弾みます。



初出演のおやじバンドです。その名は「ニューエバーグリーン」です。



子ども会育成会の輪投げゲーム 参加約70人



販売された軽食・おつまみはすべて手作り、頑張りました。苦勞の甲斐あって、食品はすべて売り切れ。評判も上々。



子供映画鑑賞会 約40人 (ドラえもん)



ビンゴの景品、よく吟味して、でも悩む。



今年のサマーナイトフェスタ、ビンゴゲーム大会出場者は228人。この夜の最大の盛り上がりを迎えました。ビンゴは近くて遠い…。リーチなのに。

一夜限りのお祭り。あっとい
う間に終わってしまいます。
また来年をご期待ください。



もしものとき…考えてますか

災害の避難所生活講習

七月二十日(水)、「もしものとき…避難所を考える」と題して、松本市社会福祉協議会の中村ひとみさんが専門の立場から次のように講演してくださいました。

自然災害は受け入れるしかありませんが、準備次第で苦痛を軽減することができま

す。日頃から減災対策を進め、災害時の家族間の連絡のとり方、避難場所、備蓄品、持ち出し品について話し合い、備えておくことが大切です。飲料水用ポリタンクとブルーシートは必需品。持ち出し品は普段の生活でその人が必要

なものをもとめましょう。

避難所では、トイレが大きな課題です。過去の教訓から、一般の避難所では生活できない人のために、福祉避難所も考えられるようになりまし

た。一方で仕切りや通路、更衣室、携帯電話の充電や子どものためのスペースづくりなどは改善されつつあります。避難所では、エコノミークラス症候群・脱水・感染症・持病の悪化など、さまざまなリスクがあります。自ら備える自助、お互い協力し合う互助、行政などが関わる公助が鍵となります。避難生活の中



まちづくり協議会主催の避難所生活講習をされる中村さんと聴衆の皆さん

地域の話題 66

「ゾーン30」指定半年余 安全の高まりに期待

松本市の旭町小学校周辺の市道が、車の制限速度を時速30km以下に規制する「ゾーン30」の区域に指定されて半年余がたちました。同小に多くの児童が通う安原地区では、指定による交通安全の高まりに期待が寄せられています。規制された区域は交通量の多い国道143号や県道松本和田線、女鳥羽川などに囲ま

れた住宅街約40haで、東京ドームのざっと8.5倍の広さに相当します。生活道路が主要道路への抜け道として使われていました。

区域内には旭町小をはじめ県松本盲学校、松本光明幼稚園などがあり、速度規制を求める地域の声が以前からありました。

指定された一帯には「ゾーン30」を示す標識が設置されました。路面標識も設けられ、運転者への周知を図ってきました。



車が行き交う国道143号と「ゾーン30」を示す道路標識

でも役割を決めて仕事をしましょう。被災者であつてもできることがあります。避難所の運営は、日頃の地域のつながりや普段からのつきあいがい力を発揮します。いざというときの備え、もう一度考えてみませんか。

年度途中のため規制実施の前後を比較するデータはまわっていません。安原地区まわちづくり協議会の廣瀬清会長は「交通安全は地域共通の願い。国道143号を渡って旭町小の西門から大勢が通学する安原地区にも指定区域を広げてもらえれば、より実効が上がるのではないかと話しています。

市内の「ゾーン30」は梓川小と梓川中学校一帯、筑摩小学校近く、中心市街地の中町、中央東地区に次いで旭町小の周辺が4カ所目です。

いちよう並木

ママコノシリヌグイ・アキノウナギツカミ・ミゾソバの名前の由来

タデ科の植物で有名なものに、オオケタデ(別名アカマンマ)があります。子どもの頃ままごと遊びに使ったという方も多いのではないのでしょうか。これは中国・インド等から鑑賞用として入ってきたもので、今は野生化してどこでも見ることが出来ます。

さてママコノシリヌグイ、アキノウナギツカミ、ミゾソバも、これと同じタデ科の植物です。

ママコノシリヌグイは、薄紅色の可憐な花(本当はこれにはがくです)をつけますが、茎には鋭いトゲがあります。実は名前には、継子(まねこ)を痛めつける為にそのトゲで尻をぬ

ぐえというなんとも恐ろしい意味が込められているようです。そんな名前の植物である事を知れば、穏やかに鑑賞などしてはられないでしょう。

アキノウナギツカミもまた茎や葉にトゲがありますが、こちらは誰かを痛い目に遭わせるという意味ではなく、ヌルヌルしたウナギもつかみやすいという意味が名前に込められています。(同じトゲなのになぜなのでしょうか…)

ミゾソバは溝のそばに生えるのでミゾソバです。またこの葉は牛の額によく似た形をしているので、ウシノヒタイとも呼ばれています。

名前の由来はそれぞれで、聞いて驚かれたものもあるかもしれませんが、三種とも、蕎麦の花に似た非常に可憐な花をつけます。



アキノウナギツカミ

ミゾソバ

ママコノシリヌグイ